

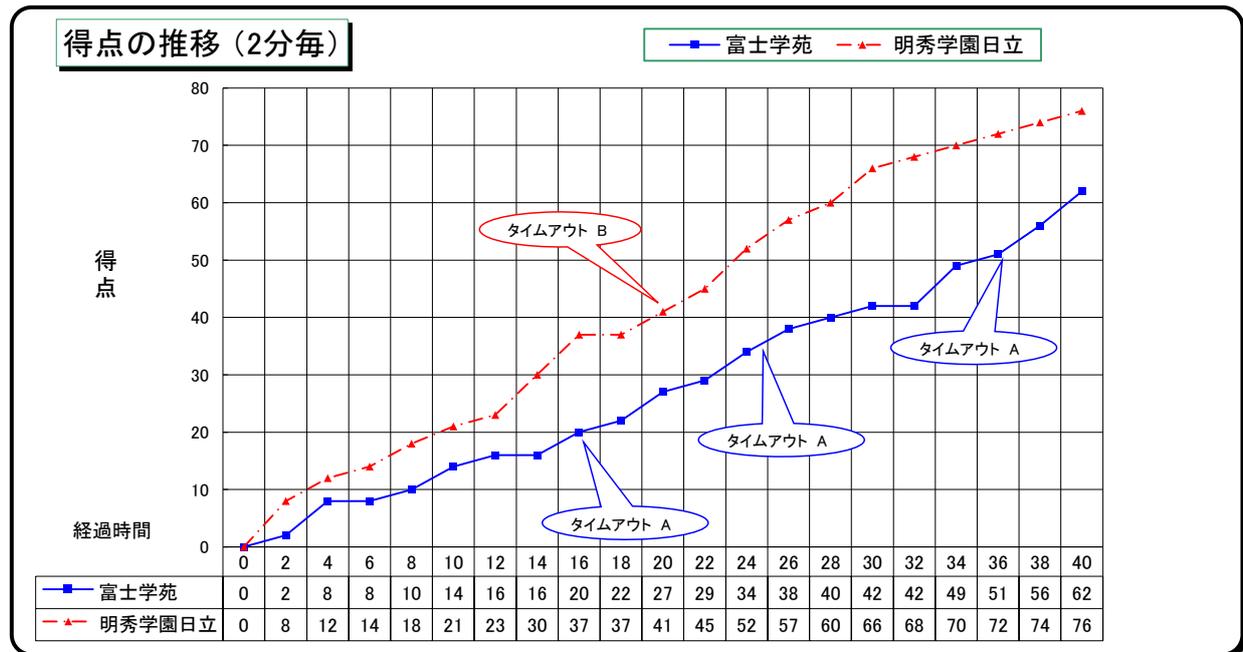
平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会 【女子】 <2回戦>

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Cコート	第5試合 15:00~													
<チームA> 富士学苑 山梨		62 { <table border="0"> <tr><td>14</td><td>1Q</td><td>21</td></tr> <tr><td>13</td><td>2Q</td><td>20</td></tr> <tr><td>15</td><td>3Q</td><td>25</td></tr> <tr><td>20</td><td>4Q</td><td>10</td></tr> </table> } 76		14	1Q	21	13	2Q	20	15	3Q	25	20	4Q	10	<チームB> 明秀学園日立 茨城	
14	1Q	21															
13	2Q	20															
15	3Q	25															
20	4Q	10															
主審: 竹澤 友美(埼)		副審: 望月 由季子(東)															

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4						
	5	野中 香歩					
◎	6	滝口 莉子	8		3	2	5
	7						
◎	8	渡邊 愛加	27	5	6		3
◎	9	池谷 妹子	2		1		5
◎	10	羽田 雅音	4		2		4
○	11	小林 春菜	11	1	4		1
	12	中村 愛海					
○	13	中村史恵理					
◎	14	薛 懂	10		5		
	15	都筑ありな					
	16						
	17						
	18						
コーチ		小野 利晴					
合計			62	6	21	2	18

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	稲葉 夏海	16		7	2	2
◎	5	大貫 詩織	11		2	7	2
◎	6	中尾 友美	17		6	5	2
◎	7	柳沢 夏希	24	5	1	7	1
◎	8	田崎 由真	6		3		2
○	9	中川 佳苗					
○	10	小田部なな					
○	11	余多分茜音					
○	12	中野 由唯	2		1		1
	13	友部 広海					
	14	大山 千晴					
	15	小野紗也加					
	16	堀井美沙子					
	17	福田 恵梨					
	18	岡野 早紀					
コーチ		筑波 大					
合計			76	5	20	21	10

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評 記入者: 大里 浩

ベスト4をかけた2回戦, 第1P, 両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマンからのスタート。序盤, 富士学苑はセンター⑭薛を中心に⑧渡邊の3pで得点する。対する明秀日立は, 速いバスからの展開で④稲葉のドライブイン, ⑥中尾のポストプレイ, ⑤大貫のミドルシュートやスティールで得点を重ね, 残り1分10点差をつける。その後, 点差は縮まるが14-21明秀日立リードで第1P終了。

第2P, 明秀日立は⑦柳沢が3pで流れを引き寄せ, 点差を再び2ケタとする。残り4分, 13点のリードをつけられた富士学苑がタイムアウトを請求, その後, ⑧渡邊の3pで応戦するが, 明秀日立リードのまま41-27で第2Pが終了する。

第3Pに入り, 富士学苑は⑧渡邊の3pや⑭薛のリバウンドからのシュートで追い上げをはかる。しかし, 明秀日立も⑧田崎のドライブインや⑦柳沢の連続3pで追撃を許さない。残り5分, 明秀日立16点リードで富士学苑タイムアウト, 逆転の好機を狙う。しかし, 明秀日立④稲葉, ⑥中尾のインサイドと⑦柳沢のアウトサイドのオフェンスに的を絞れず66-42の明秀日立リードで第3P終了。

第4Pに入り富士学苑はインサイドをダブルチームディフェンスで応戦する。しかし, 明秀日立は速いバスワークから⑧田崎がミドルシュートを決める。残り4分, 富士学苑がタイムアウトを請求, 一矢報いたいところであったが, その直後, 明秀日立④稲葉から⑥中尾のハイローが決まり, 流れを断ち切ることができなかった。富士学苑は終始, 明秀オフェンスを止めることが出来ず, そのまま試合を支配した明秀日立が76-62で勝利し, 10年ぶりのベスト4進出を果たした。